

奮起！総合防犯設備士取得

株式会社 かぎのパトロールカー 代表取締役
(総合防犯設備士 第09-0277号)

高島 栄一



はじめに

98年に防犯設備士の資格を頂き、仕事や地域活動に活かして参りましたが、時代の急速な環境変化と現場からの声に対応すべく、さらに広く高度な防犯設備に関する知識及び設計技術などの必要性を感じ07年に総合防犯設備士に挑戦致しました。只、思っていた以上に頭が固くなっており1回目は残念ながら失敗、勉強不足を痛感しました。しかし途中棄権が嫌いな性格のため再度奮起、前回は教訓に皆様のご指導を受け、しっかり勉強させて頂きました。おかげさまで、09年2回目のチャレンジで念願の総合防犯設備士の仲間入りです。合格致しましたからには、さらなる研鑽を重ね仕事はもとより、地域の安心・安全の為に微力ながら貢献できればと考えております。

会社概況と地域現況

九州経済の中心は福岡県ですが、熊本県は地理的に九州の中心に位置します。創業は平成元年で、主に熊本市を中心にカギと錠の専門店「かぎのパトロールカー」として営業展開し、平成8年に法人成り致しました。おかげさまで今年創業22年ですが、この業界ではまだまだ若輩者です。

熊本県は県全体で人口約182万人、熊本市は人口約73万人、平成24年4月の政令指定都市に向け、さらに2011年春の九州新幹線全線開業など大きくその環境を変えつつある変革元年とも言える県況・市況であります。犯罪状況としましては全国的な傾向と同じく、窃盗犯が約80%を占め、平成15年の28,973件をピークに平成21年には17,015件と、なだらかに減少してきております。しかし、一時期のような集団窃盗団の動き、また犯罪件数は鎮静化しているとは言え、九州新幹線全線開業また、政令指定都市に向けて大きく環境が変化するなかで、犯罪手口を含め犯罪の増加を大変危惧致しております。

時代の変化とともに

ピッキング侵入窃盗事件の多発に伴い、マスメディアの積極的な報道及び各業界からの注意喚起により、全体的に危機管理意識が高まってまいりました。その結果、お客様からのご依頼内容が多岐化し、一般的なカギの部門に加え、電気錠・入退管理システム・防犯カメラ・金庫など、時代の変化に伴い少しずつ業態を加えて現在に至っております。

また、国民性と言ってしまえばそれまでですが、連日ピッキング犯罪や侵入手口が報道されていた時期には各種団体から、防犯についての講演依頼をお受けしておりました。しかし、報道回数の減少とともにその数も少なくなってきました。その反面、テレビで新しい錠やシリンダー・防犯機器が取り上げられると、個人のお客様から問合せが急増します。そのような現状を見ると、ある意味ブームとなった一連の出来事は、全体的な防犯意識の向上に大いに役立っていることを実感しますとともに、情報社会の怖さ、正しい情報提供の難しさを考えさせられるばかりです。

九州における防犯設備士関連の現況（2010年8月10日現在）

	防犯設備士	総合防犯設備士	地域関連協会
福岡県	798名	13名	NPO法人 福岡県防犯設備士協会
佐賀県	69名	1名	
長崎県	65名	1名	
熊本県	149名	3名	
大分県	106名	2名	大分県防犯設備士協会
宮崎県	56名	1名	NPO法人 宮崎県防犯設備士協会
鹿児島県	55名	1名	鹿児島県防犯設備協会
沖縄県	50名	0名	
合 計	1,348名	22名	4 協会

最後に

さまざまな防犯設備士の方とお話する機会がありますが、「お客様から尋ねられたとき、この資格がないと仕事は出来ませんと明確に答えられないのが残念です。」とか「防犯設備士の資格制度を知らない方がほとんどです。」と言われます。同感です。

上記の現況数値を見て頂くとお分かりのとおり、熊本県民約182万人に対して149名の防犯設備士です。致しかたないと言えばそれまでですが、「建築士」などは広く認知されている現状を見ますと、防犯設備士の一人として何かお手伝い出来ることがあればと考える次第です。また、総合防犯設備士の勉強をする上で総合的に防犯設備工事を行うに当たり、その守備範囲の広さと、奥の深さを改めて痛感致しました。今後、益々その傾向は強くなって行く事と思いますが、お客様のご要望に的確にお答えする為には「防犯設備士」と言うこの資格を軸に、異業種との協業が不可欠だと確信致しております。その為には防犯設備士相互の連携を深め、(社)日本防犯設備協会の設立目的にベクトルを合わせ地域社会の安心と安全を守るために、協会及び各関係団体様のご協力をお受けしながら努力してまいり所存でございます。若輩ではございますが、今後共ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

